

2016 JR総連春闘を職場から闘おうシリーズ⑬

ベアでさらに格差拡大！

2016年度新賃金配分第2回団体交渉 会社回答に対して持ち帰り検討

管理者には厚く、若き社員には薄い配分！

本部は4月7日、2016年度新賃金配分に関する第2回団体交渉を開催しました。会社は、35歳ポイント1,000円(0.31%)の配分を「社員及び専任社員の基本給に、等級及び区分に応じて額を加算する」として、管理職には厚く、新入社員には薄い配分で、賃金格差がまた更に拡大となる社員の基本給、初任給、昇格時昇給額、専任社員の基本給額の変更について回答を示しました。本部は、ベアと制度とは別のものでありベアで格差を付ける必要はなく、一律配分を改めて主張し、会社回答に対して対立を確認、持ち帰り検討としました。同じ仕事をしていても、昇格(合格数に限りのある昇進試験に合格)しない限り賃金の格差は拡大の一途です。組合員はもとより社員の士気が下がる一方のベア配分には問題があります。

〈提案された主な加算額と初任給〉

一般社員		専任社員		学校別初任給額	
等級	加算額	区分	加算額		
J 1	800円	I	600円	S 1 大学院	221,100円
J 2	900円		500円	J 3 大学	191,500円
J 3	900円	II	600円	J 2 短期大学	171,900円
S 1	900円	III	800円	J 2 高等専門学校	〃
S 2	1,000円	IV	会社が別 に定める	J 2 専修学校	〃
S 3	1,000円	V	500円	J 1 高等学校	153,000円
C 1	1,200円			J 1 中等教育学校	〃
C 2	1,200円				
L 1	1,400円				
L 2	1,400円				
L 3	1,600円				